



## JUNIOR YOUTH

# 第24回日本クラブユース選手権(U-15) タフな精神力を身につけた関東予選 より強くなって全国へ挑む 浦和レッズジュニアユース

出場記念特集



9位決定トーナメント1回戦でクマガヤSCを破った浦和レッズジュニアユース。ここから苦しい道のりはい上がった(7/12)

第24回日本クラブユース選手権(U-15)は、8月15日(土)からグループリーグが始まる。関東予選で思わぬ敗戦を喫し、9位決定戦を勝ち抜いて最後の切符をつかんだ。公式戦に初めて出場する選手が多い今季、負けを味わい、ギリギリの戦いを制することで培われたメンタル面の強さは、全国の多彩なチームとの試合で大きな力を発揮するに違いない。そして集団生活による連戦という、これまで体験したことのないJヴィレッジでの戦いを通じて、選手たちはまた一回り大きくなって帰ってくるだろう。願わくば、4年ぶりのタイトルとともに！

## 自分たちを信じて力を出しきろう



土橋コーチ

—— コーチ 土橋 正樹

関東大会の、全国がかかった試合を落としてしまい、勝つことの厳しさを味わい、自分たちが何をしなくてはいけないかに気づいたと思います。苦しい中、チーム全員が力を合わせて戦って、そこで勝ち残ってきた強さということは、チームにとってプラスになったと思いますから、その力強さを

全国大会でも生かし、一人ひとりが失敗を恐れず積極的に、お互いを助け合ってプレーしていけば必ず結果を出せると思います。

自分たちの強みはサイド攻撃であり、球際の強さであることがよくわかり、自分たちのプレーについては整理できたと思いますから、これからさらに練習を積んで、磨きをかけ、その強みを大会で発揮してほしいと思います。また今年のチームは本当に明るいチームなので、苦しいときも常にこの明るさを忘れずに戦ってほしいと思います。

暑い中での連戦となりますが、この選手たちはしっかり食事を取れると思いますし、精神的な強さもありますから心配はしていません。たとえ80分間戦えなくても、代わって戦う選手が控えていますから、チーム一丸でやっているといます。

自分たちがやってきたことを信じて、出しきって欲しいと思います。

キャプテン 5 DF 新井 純平  
Jumpei ARAI172cm / 56kg  
3年 / 江南南サッカー少年団(前所属チーム)

・苦しいときでも頑張れる運動量豊富な右サイドバック

強いチームにも  
チャレンジしていく

川崎フロンターレには、関東リーグで勝っているというのがある、みんなどこかに油断があったのかな、と思います。関東予選の3回戦では、試合の入り方が甘く、いきなり2失点してしまいました。追いつくチャンスがあったのですが、もっと集中力を持って、決めるところで決めておかないといけなかったと思います。この敗戦で暗くなってしまった時期もあったのですが、全国に行きたいという気持ちがあったので、しっかり切り替えて、9位決定トーナメントに臨み、勝つことができました。

全国大会ではこの経験を生かして、どこかのチーム相手にも油断しないこと、最初から全力で行くことを心がけたいです。強いチームと当たったときも、どんどんチャレンジしていきたいですし、チームが劣勢のときも下を向かないように声をかけ、自分たちのサッカーを続けていきたいです。

個人的には強いチームを相手にどれだけ自分のプレーが通用するか楽しみです。

# 第24回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)に臨む選手たち



**1 GK 細田 龍太**  
**Ryota HOSODA**  
 177cm / 63kg  
 3年 / 三俣サッカー少年団  
 ・積極的な飛び出しは迫力がある



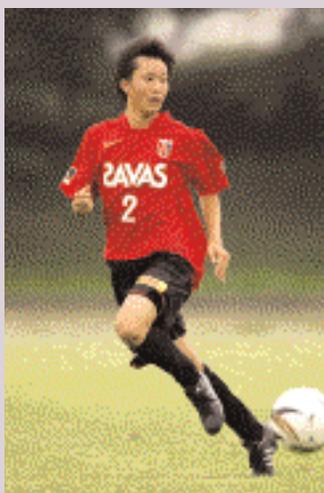
**3 DF 齋藤 一穂**  
**Kazuho SAITO**  
 172cm / 60kg  
 2年 / さいたま尾間木サッカー少年団  
 ・クレバーな守備が売り物、今季安定感をつけてきた



**6 FW 西袋 裕太**  
**Yuta SAITAI**  
 178cm / 65kg  
 3年 / さいたま道祖土サッカー少年団  
 ・高さにも自信を持ち、展開力のあるランチ



**8 MF 立野 峻平**  
**Shunpei TATENO**  
 165cm / 54kg  
 3年 / さいたま尾間木サッカー少年団  
 ・苦しい中でも前を向きチームを引っ張るムードメーカー



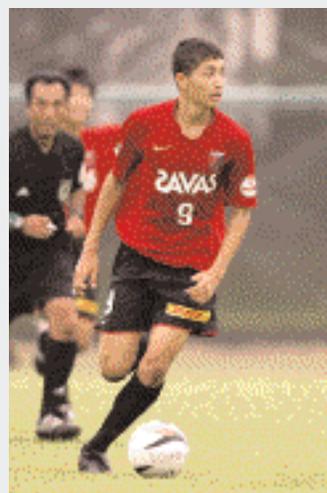
**2 DF 金野 僚太**  
**Ryota KONNO**  
 170cm / 56kg  
 3年 / 柳崎サッカークラブジュニア  
 ・スピードがあり、身体を張るファイター



**4 DF 西澤 秀平**  
**Shuhei NISHIZAWA**  
 176cm / 67kg  
 3年 / 松山サッカー少年団  
 ・後方からゲームを作る安定感のある選手



**7 MF 繁田 秀斗**  
**Shuto SHIGETA**  
 160cm / 48kg  
 3年 / 江南南サッカー少年団  
 ・相手が嫌なところをつくクレバーな選手



**9 FW カドコダイ アシカン**  
**KADOKODAI ASHIKAN**  
 184cm / 72kg  
 3年 / 狭山水富FC  
 ・GKより高い打点でヘディングを決めるストライカー

## 関東予選のあゆみ

### 第24回日本クラブユース選手権(U-15)関東予選

- 2回戦  
浦和レッズ 5 - 0 三菱養和調布  
得：小峯、西袋2、西澤、進  
(7.4 / 埼玉スタ第4グラウンド)
  - 3回戦  
浦和レッズ 1 - 4 川崎F  
得：カドコダイ  
(7.5 / 埼玉スタ第2グラウンド)
  - 9位決定トーナメント1回戦  
浦和レッズ 2 - 0 クマガヤSC  
得：カドコダイ2  
(7.12 / 前橋総合運動公園)
  - 9位決定トーナメント2回戦  
浦和レッズ 3 - 1 ジェフ市原  
得：中村2、カドコダイ  
(7.18 / 前橋総合運動公園)
  - 9位決定戦  
浦和レッズ 2 - 1 柏イーグルス  
得：カドコダイ2  
(7.19 / 国南五代グラウンド)
- \*関東9位で全国大会出場

## 3回戦敗退で本来の力取り戻す、サバイバルレース

関東予選は、一次予選を勝ち抜いた40チームと、浦和レッズら一次予選シードの12チーム、計52チームによるトーナメント戦。3回戦を勝ち抜いた段階で、ベスト8が決まり、関東からの出場枠9のうち、8チームが決定する。7月4日(土)の2回戦から出場したレッズジュニアユースは、三菱養和調布SCを5 - 0で退けたが、翌日の3回戦で川崎フロンターレU-15に敗れた。前半早々に2点を失い、その後反撃に転じたが、後半の良い流れの時間帯に1点を返したのみで、さらに追加点を奪われ1 - 4の大敗。川崎には関東リーグで5月の対戦時に6 - 1と大勝していただけに衝撃的な敗戦だった。

残る1つの代表枠決定方法は、3回戦で敗れた8チームによるトーナメント戦。敗れた時点で全国出場の道が閉ざされる方式で戦うサバイバルレースだが、川崎に敗れたことで逆に本来の力を取り戻したレッズは、初戦のクマガヤSCを完封するなど2試合をしっかりと勝ち抜き、9位決定戦に進出。相手の柏イーグルスは、FC東京U-15深川、FC東京U-15むさしとJリーグの下部組織を連破

して上がってきた強豪で、2 - 0で折り返した後半12分に1点を返されるが、レッズはペースを乱さず、最後まで全員で攻撃するスタイルを貫いて勝ちを収めた。

春からの関東リーグで、中断前の7試合を6勝1分けという好成績で来た浦和レッズジュニアユース。関東大会で喫した思わぬ1敗は、全国大会に向けて、持ち前の技術、連係に、精神的な強さをプラスする貴重な経験となった。



3回戦で川崎Fにまさかの敗退、全国行きに黄信号が点滅(75 / 川崎F戦)



10FW 中村 駿介

**Shunsuke NAKAMURA**

160cm / 59kg  
3年 / 新座エースFC  
・独特のリズムを持つドリブラー、エリア内で危険な選手



12MF 相馬 慎

**Makoto SOMA**

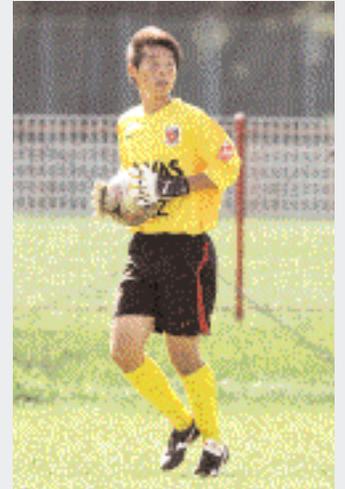
173cm / 63kg  
3年 / 川越ひまわりサッカークラブ  
・独特のタッチで相手の嫌なところパスを出す



14MF 平山 創士

**Soshi HIRAYAMA**

160cm / 51kg  
3年 / 栄サッカー少年団  
・相手との駆け引きで上げる左クロスは脅威



16GK 吉野 雅大

**Masahiro YOSHINO**

175cm / 65kg  
2年 / 上福岡少年少女サッカークラブ  
・キャッチ、キック、すべてに落ち着いた選手



11MF 佐藤 大介

**Daisuke SATO**

165cm / 57kg  
3年 / FC東85  
・ボール扱いのうまい左サイドアタッカー、精神的にも強い



13DF 副島 暢人

**Nobuhito SOEJIMA**

169cm / 57kg  
2年 / さいたま北浦和サッカー少年団  
・スピードが武器、粘り強さでプレーの幅が出てきた



15MF 小峯 洋介

**Yosuke KOMINE**

172cm / 62kg  
3年 / さいたま北浦和サッカー少年団  
・身体能力もある、高い技術の持ち主



17DF 村上 健太

**Kenta MURAKAMI**

171cm / 52kg  
3年 / さいたま岸町サッカー少年団  
・トップスピードのまま上げるクロスが武器

\*写真の背番号は本大会登録と必ずしも一致しない

## 3連勝でつかんだ第9代表の座



1回戦は無失点で乗り切った  
(7.12 / クマガヤSC戦)



9位決定戦で2点目を挙げたカドコダイ・アシカン、関東予選では5試合で6点の活躍  
(7.19 / 柏イーグルス戦)



サバイバルレースの9位決定トーナメント1回戦のハーフタイム (7.12 / クマガヤSC戦)



指揮を執る名取篤監督、右は土橋コーチ  
(7.19 / 柏イーグルス戦)



苦しい戦いで見事にはい上がった。さあ、待ってる全国！  
(7.19 / 柏イーグルス戦)



18FW 大野 耀平

**Yohei ONO**

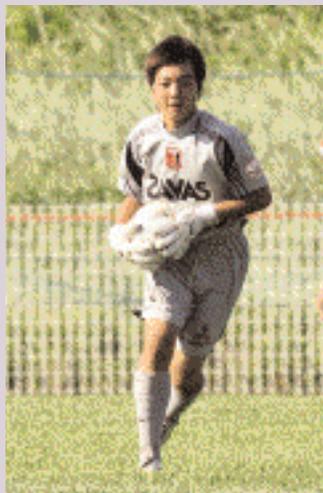
173cm / 60kg  
3年 / 高島平サッカークラブ  
・相手を恐れずにゴール前に飛び込むプレーは必見



20DF 河野 翔

**Kakeru KONO**

176cm / 65kg  
3年 / 川越パンサーサッカー少年団  
・ヘディングの強さでは抜群のセンターバック



22GK 高須 雄大

**Yudai TAKASU**

174cm / 67kg  
1年 / さいたま沼影サッカー少年団  
・明るい表情がチームを元気にし、向上心ある1年生



24MF 田口 翔太郎

**Shotaro TAGUCHI**

177cm / 56kg  
3年 / さいたま芝原サッカー少年団  
・長身を生かした独特のドリブルが持ち味



19DF 水落 敬

**Kei MIZUOCHI**

163cm / 48kg  
3年 / さいたま西浦和サッカー少年団  
・左利きで、独特のリズムのドリブルとキックを持つ



21MF 進 昂平

**Kohei SHIN**

168cm / 54kg  
2年 / 東川口FCジュニア  
・身体を張ったプレーで結果を残すフイター



23MF 小田切 敦史

**Atsushi ODAGIRI**

166cm / 47kg  
3年 / さいたま祖土サッカー少年団  
・常に一生懸命、献身的なプレーが持ち味



25DF 西山 奨

**Sho NISHIYAMA**

170cm / 60kg  
3年 / さいたま木崎サッカー少年団  
・スピードで負けない、1対1に粘り強さを持つ

\* 写真の背番号は本大会登録と必ずしも一致しない

## 第24回 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

8月14日(金)～8月23日(日)  
/ Jヴィレッジ

### 大会方式

#### グループリーグ

4チーム×8グループでリーグ戦を行う。

順位は勝点(勝ちに3、引き分けに1)得失点差、総得点、当該チーム同士の対戦成績、抽選の順で決定する。

試合時間は35分ハーフ。

#### 決勝トーナメント

グループリーグの結果、各グループ上位2チーム、計16チームが決勝トーナメントに進出する。

試合時間は40分ハーフ。ただし同点の場合は10分ハーフの延長を行い、さらに決しない場合はPK方式で勝敗を決める。

### 出場チーム(グループ分け)

#### < Aグループ >

岩田FC / 鹿島アントラーズ / SALUFS oRs / 太陽SC

#### < Bグループ >

横浜FC / 千里丘FC / サンフレッチェ広島 / コンサドーレ札幌

#### < Cグループ >

ジェフ習志野 / ACNジュビロ沼津 / 小倉南FC / 浦和レッズ

#### < Dグループ >

名古屋グランパス / 前橋FC / FCディアモ / A.C.AZZURRI

#### < Eグループ >

横浜F・マリノス / サンフレッチェ常石 / FCひがし / セレッソ大阪

#### < Fグループ >

東京ヴェルディ / 松任FC / ベガルタ仙台 / 京都サンガ

#### < Gグループ >

ヴィッセル神戸 / クリアージュFC / 富山北FC / ロアッソ熊本

#### < Hグループ >

アビスパ福岡 / 川崎フロンターレ / 清水エスパルス / ガンバ大阪

### 試合スケジュール

8月14日(金) 代表者会議

8月15日(土) グループリーグ

8月16日(日) グループリーグ

8月17日(月) グループリーグ

8月19日(水) ラウンド16

8月20日(木) 準々決勝

8月22日(土) 準決勝

8月23日(日) 決勝

### その他

優勝および準優勝チームは高円宮杯 第21回全日本ユース(U-15)選手権大会に、日本クラブユースサッカー連盟代表チームとして出場する。

### レッズジュニアユースのグループリーグ

8 / 14 15:00 vs ジェフ習志野

8 / 15 13:00 vs ACNジュビロ沼津

8 / 16 10:30 vs 小倉南FC